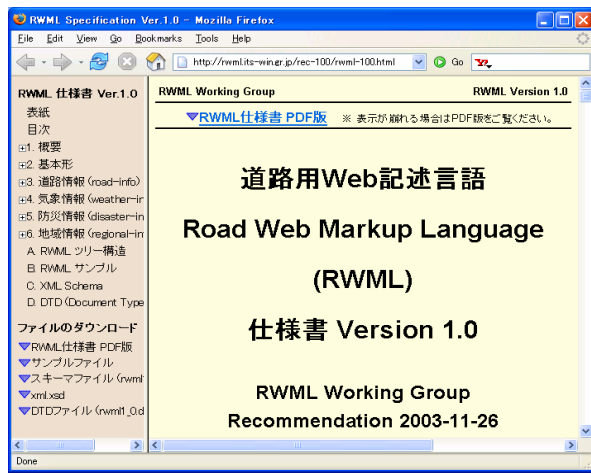




▲ストップ・ザ、正面衝突! ランブルストリップス
http://www2.ceri.go.jp/rumble/



▲北海道の交通事故分析サイト
http://www2.ceri.go.jp/jiko/

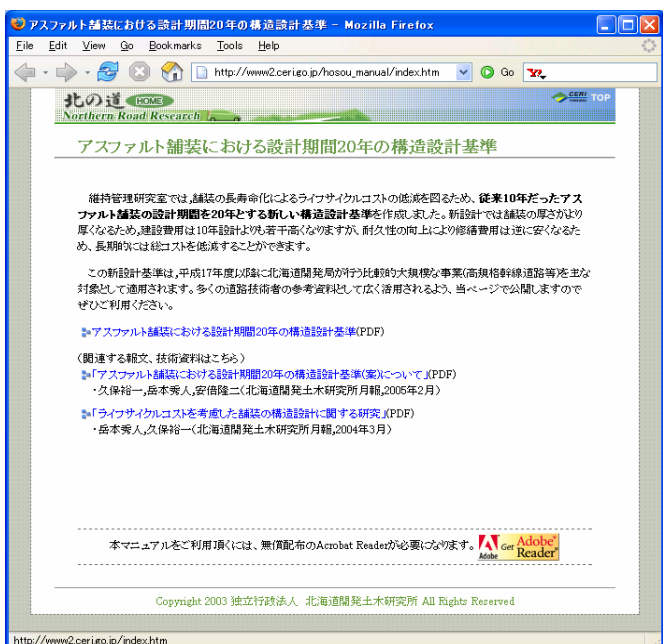


▲道路用Web記述言語RWML仕様書ダウンロードページ
http://rwml.its-win.gr.jp/

お問い合わせ



▲道路吹雪対策マニュアル ダウンロードページ
http://www2.ceri.go.jp/fubuki_manual/



▲アスファルト舗装における設計期間20年の構造設計基準
ダウンロードページ
http://www2.ceri.go.jp/hosou_manual/

独立行政法人 北海道開発土木研究所 道路部
〒062-8602 札幌市豊平区平岸1条3丁目1番34号
交通研究室 TEL : 011-841-1738 FAX : 011-841-9747
防災雪氷研究室 TEL : 011-841-1746 FAX : 011-841-9747
維持管理研究室 TEL : 011-841-1747 FAX : 011-841-9747
E-mail road@ceri.go.jp Homepage http://www2.ceri.go.jp/

安全・快適 北の道 - 寒地道路技術の研究開発

寒地道路技術の情報発信を行う道路部のサイト「北の道リサーチ」

明日の北国のモビリティのために
独立行政法人 北海道開発土木研究所



北海道開発土木研究所は、わが国唯一の寒冷地土木技術の研究開発を行う試験機関です。当研究所の道路部に関する研究・調査報告に関連する寒地道路技術の情報などを提供する情報発信基地として、道路部ホームページ「北の道」の充実とともに、毎月1回「北の道リサーチニュース」をメール配信しています。(メール配信のお申し込みは road@ceri.go.jp へ)

ホームページアドレス <http://www2.ceri.go.jp/>

道路部

道路部の組織、各研究室からのお知らせや研究課題の紹介はこちら。

広報・技術普及

メールニュースや道路雪氷ML、講演、講習会等のご案内、各研究室のパンフレットの紹介はこちら。

ピックアップ

研究所月報に掲載された冬期道路に関連する論文やニュース等の紹介はこちら。

研究成果の紹介

当所月報に掲載された報文・論文や技術資料、雑誌等投稿記事の紹介はこちら。

実験施設の紹介

苫小牧寒地試験道路、石狩吹雪実験場の紹介はこちら。



お知らせ

本ホームページに関する新着情報はこちら。

技術情報源

北海道の国道における交通事故に関するデータや各研究室が研究成果としてまとめた各種マニュアルや仕様書等の紹介、道路交通に関するホームページのリンク及び寒地土木技術情報センター(当研究所内)や主要図書館への図書・論文検索はこちら。

関連サイト

当研究所が運営を行っている北海道内の道路情報総合案内ポータルサイト「北の道ナビ」をはじめとする道路関連サイトの案内はこちら。

北海道開発土木研究所 道路部 の取り組みや研究調査成果の紹介

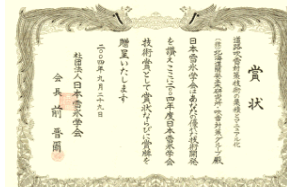
道路吹雪対策マニュアル

防災雪氷研究室では、吹雪による吹きだまり及び視程障害に関する技術資料として「道路吹雪対マニュアル」を取りまとめ、平成15年7月より北海道開発土木研究所ホームページにて公開しており、無料でダウンロードしてご利用いただけます。

NEWS

2004年度日本雪氷学会技術賞を受賞!

2004年度日本雪氷学会全国大会において、当研究室の「道路吹雪対策技術の集積とマニュアル化」の取り組みに対し、2004年度日本雪氷学会技術賞が授与されました。



寒地道路連続セミナー

北海道開発土木研究所道路部では、現在行っている調査・研究の紹介も兼ねて、寒地道路に関する様々な課題について、行政やコンサルタントの専門家や技術者、そして大学や他の研究機関の方々への情報提供や意見交換の場として、「寒地道路連続セミナー」を開催しています。



ランブルストリップス

交通研究室では、正面衝突事故の防止対策としてランブルストリップスの研究を行っています。ランブルストリップスとは、舗装路面を削り、カマボコ状の凹型を連続して配置することにより、その上を通過する車両に対し不快な振動や音を発生させ、ドライバーに車線を逸脱したことを警告する交通事故対策です。既存の対策に対し、設置費用が安価なことや維持管理費用も掛からないことから、現在北海道内の国道において導入が進んでいます。



■ランブルストリップス

「北の道リサーチニュース」

「北の道リサーチニュース」は、北海道開発土木研究所道路部が発行するメールマガジンです。道路部における研究・調査報告や講演・講習会の開催予定など、寒地道路技術の情報発信基地として、定期的に月1回の配信を行っています。

【北の道リサーチニュース：第26号(2005年11月)】 "寒地道路のリサーチセンター" 独立行政法人北海道開発土木研究所道路部発行http://www2.ceri.go.jp/jpn/		
■道路部ニュース		
01:北海道開発土木研究所講演会を開催します 02:第11回寒地道路連続セミナー「道路気象に対する理解を深める」を開催します 03:第12回寒地道路連続セミナー「ワーストワン返上の理由－なぜ減ったか北海道の交通事故死者数－」を開催します 04:第21回寒地技術シンポジウムに参加します 05:第2回効率的な凍結防止剤散布方法に関する検討委員会が開催されます 06:土木研究所 新技術ショーケース2005in東北で講演します 07:北海道ITS推進フォーラム講演会が開催されます 08:第12回ITS世界会議サンフランシスコに参加しました 09:排水性舗装に関する欧州調査団が来所しました 10:平成16年度版北海道の交通事故国道統計ブックがHPから閲覧できます ■関連研究室ニュース(New!) 11:第50回地盤工学シンポジウムに参加しました 12:土木研究所 新技術ショーケース2005in北陸に参加しました ■研究紹介 13:月報(報文) 霧発生下で求められる自発光式LED視線誘導灯の光度性能 ■リサーチ・パンフレット紹介 ■北の道ナビニュース ■道内・国内・海外ニュース		
■道路部ニュース		
01:北海道開発土木研究所講演会を開催します http://www.ceri.go.jp/kouennkai/kouennkai.htm		
寒地土木技術に関する当研究所の研究成果を一般市民の皆様にも幅広くご紹介すべく毎年実施しているものです。多くの方々のご来場をお待ちしております。 ・日時：平成17年12月7日(水) 13時30分開演 (12時30分開場) ・場所：北海道厚生年金会館 3階ロイヤルホール 札幌市中央区北1条西12丁目 tel.011-231-9551 ・入場料：無料 ・演題： 「知床の課題 ～世界自然遺産登録を受けた取り組み～」 (環境省 釧路自然環境事務所長 星野一昭氏) 「酪農流域の水質環境とその改善方法」 (当研究所 農業開発部農業土木研究室長 中村和正) 「沿岸域の生物環境と河川水の係わり ～石狩湾を例として～」 (当研究所 環境水工部水産土木研究室長 足立久美子) 「雪みちに挑む新技術 ～安全・快適 北の道～」 (当研究所 道路部防災雪氷研究室長 加治屋安彦) ・問い合わせ：企画室(担当：堀、三富) tel. 011-841-1636		
02:第11回寒地道路連続セミナー「道路気象に対する理解を深める」を開催します http://www2.ceri.go.jp/mt_test/archives/000233.html (防災、交通)		
12月9日(金)に標記セミナーを開催します。道路管理をする上で気象とは密接に関連しております。ご関心をお持ちの方には、ぜひご参加いただければ幸いです。 ・日時：平成17年12月9日(金) 13時00分～17時00分 ・場所：北海道開発土木研究所 1F講堂 ・費用：無料 ・申し込み及び詳細についてはこちら → http://www2.ceri.go.jp/mt_test/archives/000233.html ・開催内容 講演 「気象情報の理解と利用」 札幌管区气象台 技術部予報課 予報官 高田数実 「集中豪雨や融雪による出水」 北海道開発土木研究所 河川研究室 室長 渡邊康玄 話題提供 「雪氷災害と道路気象」 北海道開発土木研究所 防災雪氷研究室 主任研究員 伊東靖彦 「路面凍結と気象」 北海道開発土木研究所 交通研究室 研究員 徳永ロベルト 「道路維持管理高度化WGの取り組み」 北海道開発局 建設部道路維持課 防災第一係長 鈴木武彦 「海外における道路気象問題への取り組み」 北海道開発土木研究所 防災雪氷研究室 室長 加治屋安彦 ・問合せ snow@ceri.go.jp Fax: 011-841-9747 TEL: 011-841-1746 ・担当 防災雪氷研究室 三好、松澤		

メールマガジンとは？

電子メールを使って発行される雑誌です。購読申し込みを行いメールアドレスを登録すると、定期的または不定期に、メールマガジンが購読者宛に電子メールで送られてきます。

ネットサーフィンをしなくても必要な情報が自動的に送られてくる仕組みで、電子メールを受信できる人なら誰でも読むことができます。

03:第12回寒地道路連続セミナー「ワーストワン返上の理由－なぜ減ったか北海道の交通事故死者数－」を開催します (交通研究室)

12月12日(月)に標記セミナーを開催します。2003年の交通事故死亡者は391人と過去10年間の死者数と比べると急減しており、本年は交通事故死者数ワーストワン返上という兆しが見えてきています。本講演会は、「北海道内の交通事故死者数がなぜ急減したのか」という問題提起と、要因として考えられる社会的背景について関係諸機関の専門家にご講演頂き、交通事故削減の一助となるよう、北海道土木技術会道路研究委員会主催、当研究所の共催で開催いたします。
・日時：平成17年12月12日(月) 14時30分～17時00分
・場所：札幌ガーデンパレス 札幌市中央区北1西6
・費用：無料
・申し込み：道路研究委員会事務局 (株)ドーコン 交通部内 担当 太田 祐司、内藤 利幸、高橋 泰子
TEL 011-801-1520 FAX 011-801-1521
E-mail:dourokenkyu@jsb.ne.jp

04:第21回寒地技術シンポジウムに参加します (道路部)
http://www.decnet.or.jp/project/ctc/index.html

12月5日(月)～7日(水)に札幌市コンベンションセンターで「第21回 寒地技術シンポジウム」が開催されます。道路部からは9編の研究発表及び技術展示に参加します。
＜交通研究室＞
・スパイクタイヤ規制の評価から得られるもの (浅野室長)
・熱収支法を用いた路面凍結予測手法の構築について (高橋副室長)
・市民参加型実験における冬期歩行者空間確保対策のモビリティ評価に関する研究(徳永研究員)
・北海道の地域特性を考慮した道路構造に関する研究 ～スウェーデンの事例を参考として～ (宗広研究員)
・フィンランドの冬期維持管理における性能規定書の概要と実態 (舟橋研究員)
・画像処理装置を活用した冬期交通流に関する研究 (秋元研究員)
＜防災雪氷研究室＞
・冬期の走行環境に応じた情報提供に関する研究(第1報) ～国内外の既存研究と情報提供の事例から～ (松澤副室長)
・官民連携による冬期道路の情報収集・提供実験(第2報) ～しりべしe街道～ (松島研究員)
・非常に滑りやすい路面の検知手法の研究 (山際主任研究員)

05:第2回「効率的な凍結防止剤散布方法に関する検討委員会」が開催されます (交通研究室、防災雪氷研究室)

治道環境への影響が少ない凍結防止剤散布方法について検討を行うため、「効率的な凍結防止剤散布方法に関する検討委員会」(委員長：長岡技術大学丸山暉彦教授)の第2回委員会が12月8日に東京で開催されます。委員会には、交通研究室浅野室長、防災雪氷研究室加治屋室長が委員として参加します。

06:「土木研究所 新技術ショーケース2005in東北」で講演します (交通研究室)
http://www.pwri.go.jp/jpn/news/20051026/showcase.htm

土木研究所では、共同研究等で開発した技術を活用して頂き、良質な社会資本の整備推進に寄与し、もって国民生活の安定、社会経済の健全な発展のお役に立ちたいとの趣旨で、技術の普及に関する成果報告会を、12月9日、宮城県仙台市で開催いたします。当日は、「ランブルストリップスによる正面衝突事故対策」と題して、交通研究室、浅野室長、平澤主任研究員が講演いたします。

07:北海道ITS推進フォーラム講演会が開催されます (防災雪氷研究室)
http://www.hokkaido-its.jp/

標記講演会が12月1日(木)14：00～16：00、稚内全日空ホテルで開催されます。内容は、講演1.道を使いこなすITSへ「シーズ指向から公益指向への転換」(東京大学大学院工学研究科助教清水哲夫氏)、講演2.北海道の道路を支える寒地ITSの技術開発と導入事例(当所加治屋防災雪氷研究室長)、パネルディスカッション「ITSで変わる暮らし・未来」です。詳しくは上記URLのページをご覧ください。

「道路雪氷メーリングリスト」

「道路雪氷メーリングリスト」は、吹雪,雪崩,除雪,路面管理等の道路雪氷対策に関わる技術者、研究者等が互いに連携・協力して、技術レベルの向上と問題解決型の技術開発を推進し、道路の雪氷対策全般の話題を交換する場としてご利用いただいています。

趣旨は？

平成16年1月に道東地方を襲った豪雪の教訓等をふまえ、道路雪氷対策に対する関心を高めるとともに技術レベルの向上や行政と研究との連携、官民の連携の充実を図ることを目的として開設します。道路の雪氷対策全般の話題を交換する場として利用いただければと考えています。

参加するには？

道路雪氷メーリングリストに登録を希望される方は“道路雪氷メーリングリスト登録希望”とタイトルに明記して頂き、上記3項目を、メールの本文に記載して頂き、下記のアドレスまでメールを送信して頂きますよう、よろしくお願いいたします。

- (1) ご自身の氏名と所属(会社名等)
- (2) 昼間連絡可能な電話番号
- (3) 道路雪氷対策のうち特に関心の深い事項

尚、登録にあたっては、事務局で簡単な審査をさせていただきます。審査は簡単なもので、真に技術の向上等を目的として参加されるか否かを判断させて頂く程度のものです。尚、参加目的等の確認のため電話連絡等をさせていただく場合がありますので、ご了承の程よろしくお願い致します。

道路雪氷ML事務局 snow@ceri.go.jp

留意事項

- ・メーリングリストへの投稿は、登録会員のみに限られます。登録会員以外の方が投稿してもシステムが受け付けません。
- ・添付ファイルは投稿できません。
- ・投稿は、原則として氏名を明らかにして行っていただきます。
- ・投稿内容についての責任は、投稿者本人にあります。事務局では一切責任を負いません。
- ・いわゆる公序良俗に反する投稿をされる方、商業的な内容の投稿をされる方については、事務局の判断で会員登録を抹消させていただく場合があります。
- ・手作業で登録していますので、メーリングリスト登録完了まで少々お時間をいただくことがあります。
- ・個人個人の登録意思が確認出来ませんので、同一所属内で複数の登録希望がある場合も、それぞれ個人よりメール頂きますようお願いいたします。

メーリングリストとは？

メーリングリストとは、電子メールの活用方法のひとつで、ある特定のあて先にメールを送ると、そのメールはあらかじめ登録されている人全員に配送されます。

送られてきたメールに返信を行っても登録されている人全員に送られるので、1対1ではなく複数同士でのメールのやり取りを実現する機能です。

内容は？

ちょっとした技術的な相談、詳しい人等の問い合わせ、講習会及び各種セミナー等のイベント告知などに活用していただければ幸いです。初歩的な内容でも歓迎です。

現在の参加者は？

メーリングリストの登録対象者は、特に制限等はなく、道路雪氷対策に関心を持つ方すべてとしています。道路に関する行政関係者(国,自治体等)、研究関係者(研究機関,大学,団体等)、民間企業関係者(コンサルタント,メーカー他)等、幅広い方々のご参加を歓迎いたします。

現在のメーリングリスト登録者数

- ・道路行政関係者 35名
- ・道路研究関係者 57名
- ・民間企業関係者 78名

合計170名(平成17年10月現在)

問合せ先

独立行政法人 北海道開発土木研究所
道路部 防災雪氷研究室
道路雪氷ML事務局(松沢・伊東)

TEL 011-841-1746 (平日9:30-17:30)
FAX 011-841-9747

バックナンバー閲覧

http://www2.ceri.go.jp/jpn/mailnews.htm